

# 出前講座 報告書

開催日時	令和4年11月17日(木)	14時00分 ~ 15時10分
開催場所	しまがはら郷づくり公社(島ヶ原温泉やぶっちゃん) 多目的ホール	
申請団体等名称	一般財団法人しまがはら郷づくり公社	
テーマ	(1) 伊賀市有温泉施設を含む複合施設に関する意向調査について (2) 温泉施設老朽化に伴う修繕工事等の予算確保について	
委員会名等	総務常任委員会	
出席議員	川上 善幸(委員長)、北山 太加視、増田 雄、森中 秀哲、福岡 正康、	
	中谷 一彦、百上 真奈、市川 岳人(委員外)	記録者 増田 雄

## 【講座・意見交換等の主な内容・対応等】

### 〔団体からのご意見〕

- 温泉の利用者数は、コロナ禍前の令和元年度の状態に8月までは戻っていたが、9月以降、新型コロナの感染拡大で減少している。平日で300人、土・日で600人程度である。
- 利用者の地域は、平日で伊賀30%、京都・奈良・大阪70%、土・日で伊賀15%、京都・奈良・大阪85%である。時間のピークは午後2時であり、平日で車50台、土・日で車70~80台。
- 平日の午後6時以降で、伊賀の仕事帰りの若者が増えている。
- 高齢者は少なく、若い家族連れが増えているが、客単価は低く、売り上げは1~2割低迷。
- 新型コロナの影響で、団体の宴会利用が減っている。
- 令和4年度上半期決算で、営業利益が830万円のマイナスで、営業外利益がプラス156万円、指定管理料が1,420万円で、今のところ約700万円の増。
- マイナス要因として、人件費と光熱費の高騰があり、人件費は年間50万円、光熱費は月50万円上がっている。
- 資金の確保に努めている。
- 温泉事業は横ばいだが、キャンプがブームで、コロナ禍の2割増しとなり、収益率が非常に良く、収入源になっている。そのため、第4駐車場に簡易的なキャンプ場を増設している。
- キャンプ利用者へ「手ぶらでキャンプ・温泉」というフレーズでBBQセットを販売している。
- 1年前から、バリューマネジメント株式会社とコンサル契約を結び、毎月1回の定例会議等を行っている。

(様式第2号)

- ・ コンサルのプロの目での、レストランメニューの見直し（量より見た目、原価を抑えて味で勝負）、ホームページ、SNS（インスタ）の改善（最低週1回は投稿、動画も投稿）、キャンプサイトのネット予約開始、キャッシュレス化（カード・スマホ決済）、従業員の接客研修  
パワハラ研修を行っている。
- ・ 顧客アンケートでは、泉質が良い・従業員が親切丁寧など、8割がおおよそ満足の回答。
- ・ 農振販売がここに来て低迷しており、月に1回プロジェクト会議を開いて見直しをしている。  
動線が悪い課題がある。
- ・ 市民センター・道の駅の訪問など、近隣の三重・奈良・京都・滋賀への営業活動をしている。
- ・ ボイラーの更新時期に来ており、2,000万円強の予算で、令和5年2月までに交換予定。
- ・ 漏水・天井落下など、修繕に5,000万円～1億円かかるので、放ったらかしの部分がある。
- ・ 島ヶ原については、ここが「ハブ」になっている。
- ・ プロポーザルに向けた改善が最重点課題である。

[委員からの意見]

- ・ 最終的には、SNSでの発信。特に、若者はほとんどインスタを利用している。
- ・ キャンプ場の増設については、スピード感が大事。
- ・ 計画をしっかりと立てる。数字の目標を明確に。売ろうとしているものは何か。リピーターの件数も大事。
- ・ コンサルのアドバイスを強みに、特徴を上手にアピールすること。
- ・ 大きなスポーツ大会のチケットの裏にPRしてもらおうなどして、人を呼び込む。
- ・ コンサルは、マーケティング相談も乗ってくれる。
- ・ レストランメニューの価格帯が、さるびのよりも手頃だと思う。
- ・ 地元で努力いただいている。
- ・ もうちょっと気楽に地元の人にも立ち寄れる施設になっていただきたい。

伊賀市議会議長 様

令和4年12月19日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

総務常任委員長 川上 善幸